

# Oiler 80

タイマー付

## フラッシング機

取扱説明書 (400FD)

この度は、オイラー80作動油フラッシング機をお買い上げ戴きまして、誠に有難うございます。  
ご使用にあたっては、必ず本取扱説明書をよくお読みになり、充分ご理解の上、ご使用下さい。

**SANKO**

## 1. 安全上のお願い



### 1-1 火気厳禁です



#### 危険

オイルの取扱時は、軽油等を使用していますので火気厳禁です。  
火災等の事故発生の恐れがありますので、タバコ、焚火などの火気を20m以内に近づけたり発生させたりしないで下さい。



### 1-2 ガソリン等の第一石油類使用禁止



#### 危険

ガソリン等の第一石油類は使用出来ません。  
揮発性が高く引火の原因になります。



### 1-3 分解・改造禁止



#### 危険

オイル本体や先端の給油口、吐出口及びホース等は、改造したり分解しないで下さい。  
油漏れを起こしたりする原因となります。  
故障が発生したら販売店を通じ製造元へ送って下さい。

## 2. 本機の適用範囲

2-1 本機(オイラー)の使用目的、適用範囲は次の通りです。



本機は、軽油・灯油・A重油・作動油などが使用出来ます。  
上記以外の油、特に第一石油(ガソリン等)は絶対に使用しないで下さい。

## 3. 使用上の取扱について



3-1 通電防止について



本機の運転中は、交流100Vの電気が通電していますので、水に濡れた手で触れないで下さい。必ず手袋などで保護して下さい。  
また、本機が濡れない様にシート等で防水して下さい。

## 1. はじめに

- 1) 本機は軽油・灯油・A重油・作動油等が使用出来ます。  
上記以外の油、特に第一石油類(ガソリン等)は絶対に使用しないで下さい。  
また、作業中は火気厳禁です。
- 2) カートに巻き付けてあるホースは、必ずカートから外しホースを延ばした状態でご使用下さい。
- 3) ご使用前に、フィルター上部のネジが緩んでいないか確認して下さい。  
緩んでいる時は、締めすぎない程度に軽く締めて下さい。
- 4) フィルター本体は割れやすいので、物などぶつけない様にして下さい。
- 5) 出荷時、作動油を通しテストを行う為にホースやポンプに若干残っている場合があります。

## 2. ホース

本体後部吸入用(緑テープ)と吐出用(赤テープ)2本があり、カートに巻き付けています。  
各ホース先端の金具は、カプラが付いていますのでこれに洗浄ノズルを接続して下さい。  
※ 延長ホースを使用する場合は、変形しない材質のホースを選んで下さい。

## 3. 電源

電源は交流100Vです。付属の電源コードのオス側を家庭用コンセントへ、メス側をオイラー本体の電源コンセント①へ差し込んで下さい。  
メインスイッチ②をONにすると電源ランプ④(橙)が点灯します。  
現場等で使用の際は、2KVA以上の発電機をご使用下さい。

## 4. 運転(作動油フラッシング)

- 1) ホースの先端に各ノズル(洗浄ノズル)をセットして下さい。
- 2) 電源を入れて下さい。電源ランプ④(橙)点灯。
- 3) 切替スイッチ⑥をタイマー・連続運転のどちらかを選択して下さい。
  - ・ 連続運転の場合
    - イ、切替スイッチ⑥を連続運転側に倒して下さい。
    - ロ、スタートボタン⑦を押します。モーターランプ③(緑)が点灯し、ポンプが作動します。
    - ハ、停止ボタン⑨を押します。モーターランプ③(緑)が消灯し、ポンプが止まります。

・ タイマー運転の場合

イ、切替スイッチ⑥をタイマー側に倒して下さい。 タイマーランプ⑤(赤)とタイマー⑧の Powerランプ が点灯します。

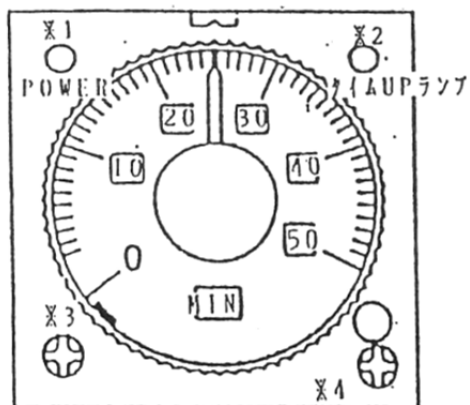
ロ、タイマー⑧のダイヤルを回し、作動させたい時間に目盛りを合わせます。

(出荷時、一目盛り1分、 最大50分まで設定する事が出来ます。)

ハ、スタートボタン⑦を押します。 ポンプが作動し、モーターランプ③(緑)が点灯、タイマー⑧のタイムアップランプが点滅します。

ニ、設定された時間になるとポンプが止まります。

※ 途中で停止させたい場合は停止ボタン⑨を押します。



- |              |    |                     |
|--------------|----|---------------------|
| ※1 Powerランプ  | …… | タイマー運転時点灯           |
| ※2 タイムUPランプ  | …… | タイマー作動時点滅           |
| ※3 目盛り変更トリマ  | …… | 時間数値の変更             |
| ※4 動作MODEトリマ | …… | 触らないで下さい。<br>(変更不可) |

4) 最初ギヤーポンプに空気入っているうちは、どうしても油の出が悪くなります。

フィルターが満タンになれば正常運転になります。

※ 特に冬場等作動油の出が悪い場合は少しエンジンをかけ作動油を温めてご使用下さい。  
温め過ぎますと故障の原因となります。

5) 使用後は、電源スイッチを OFF にし、電源コードを抜きます。

洗浄ノズルを油面より上げ、ホース内の油を抜きます。

6) 洗浄ノズルを外し、カプラに盲栓をします。

## 6. エlement交換目安

下記の状態になったときは、1次Elementを清掃して下さい。  
清掃しても同じ状態の場合は2次側Elementを交換して下さい。

◇ 圧力計の指示が約2.0kg/cm<sup>2</sup>になった時

◇ 吐出量が著しく減少した時。

## 7. エLEMENTの外し方

### 1) 1次濾過側(交換不要)

- (1) フィルター上部のカプラを外します
- (2) 上蓋固定用の蝶ネジを外し、ステーを取ります。
- (3) 上蓋を回すようにして上へ外します。  
その際、蓋の所のカプラには、絶対にスパナ等をかけ、回したりしなして下さい。
- (4) 仕切り盤を外します。
- (5) 1次濾過ELEMENTを外します。  
(1次ELEMENTは、ステンレスの為目詰まりなどの際は、軽油等で洗うか、エアーで飛ばして下さい。洗浄後使用可能です。)

### 2) 2次濾過側 (要交換)

- (1) フィルター⑩内の作動油を、ドレンを使って排出します。
- (2) フィルター上部の吐出側のカプラ⑬を外します。
- (3) 上蓋固定用の蝶ネジを外し、ステーを取ります。
- (4) 上蓋を回すようにして上へ外します。  
その際、蓋の所のカプラには、絶対にスパナ等をかけ、回したりしなして下さい。
- (5) 仕切り盤を外します。
- (6) 2次濾過側のELEMENTを外します。

※ くれぐれもフィルターを傷つけたりしないように外して下さい。

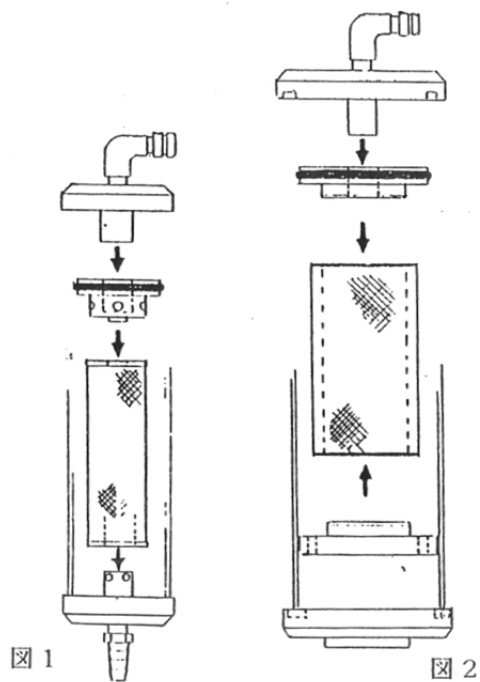
## 8. ELEMENTの入れ方

### 1) 1次濾過側 (図1参照)

- (1) 1次濾過ELEMENTの穴の空いている方を下にしパイプにかぶせるように置き、奥迄正しく水平に入れます。
- (2) 仕切り盤を入れます。
- (3) 上蓋をセットし、上蓋についているパイプが、仕切り盤の穴に無理なく入るように回しながらセットします。
- (4) ステーで、上蓋を押さえるような形で蝶ネジで締め付けます。  
締め過ぎに注意して下さい。割れる恐れがあります。
- (5) 上部カプラのオス、メスを確実にセットして下さい。

### 2) 2次濾過側 (図2参照)

- (1) 2次濾過ELEMENTをストッパーの位置まで正しく水平に入れます。
- (2) 仕切り盤を入れます。
- (3) 上蓋をセットし、上蓋に付いているパイプが、仕切り盤の穴に無理なく入る様に回しながらセットします。
- (4) ステーで上蓋を押さえる様な形で蝶ネジで締め付けます。  
締め過ぎに注意して下さい。割れる恐れがあります。
- (5) 上部カプラのオス、メスを確実にセットして下さい。



## 9. 運送時の注意

- 1) 本体を吊り上げる時は、フィルター及びフィルターステーにかからない様、カートの取手部にロープ等を掛けゆっくりと確実に移動して下さい。  
本体をぶつかけたり、落としたりしますと故障の原因となりますので注意して下さい。
- 2) 運送の際は、フィルター部分が車体等に当たらない所に積んで下さい。  
また、本体が倒れない様にしっかりと固定して下さい。

## 10. 保管について

冬場、作動油フラッシング終了後ポンプを空運転させ、ポンプ内及びフィルター内の油をある程度抜いて保管して下さい。

凍結等でポンプが動かなくなる恐れがあります。

もし、凍結等でポンプが動かない場合は、無理に回さず、電源を切り時間をあけてから再度運転して下さい。

## 11. 標準附属部品

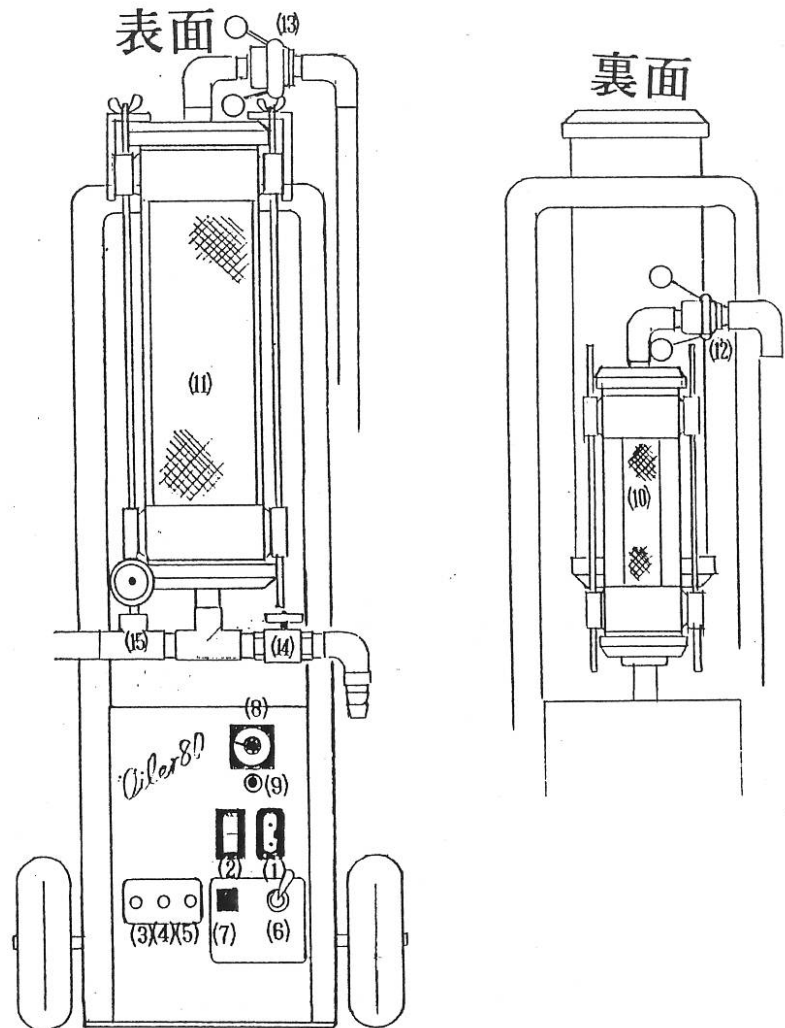
・ 電源コード		1本
・ 吸込用ノズル	1インチ×1m(塩ビパイプ)	1本
・ 吐出用ノズル	1インチ×0.5m(塩ビパイプ)	1本
・ 洗浄ノズル	吸入・吐出側共通(フラッシング用)	1本
・ 取扱説明書		1部

## 12. 本体仕様

電源	AC100V
モーター	400W
エレメント数	2本
フィルター容量	25L
質量	40kg
大きさ(本体のみ)	290×305×420

## 13. 各部名称

- ① 電源コンセント
- ② メインスイッチ
- ③ モーターランプ
- ④ 電源ランプ
- ⑤ タイマーランプ
- ⑥ 切替スイッチ
- ⑦ スタートボタン
- ⑧ タイマー
- ⑨ 停止ボタン
- ⑩ 1次濾過フィルター
- ⑪ 2次濾過フィルター
- ⑫ 1次側フィルターカプラ
- ⑬ 2次側フィルターカプラ
- ⑭ ドレンコック
- ⑮ 圧力計



お問い合わせ

三晃精機株式会社

奈良県大和高田市東三倉堂町7-13

TEL 0745-52-0025

FAX 0745-23-2732



# 保証書

お客様	ふりがな ご氏名	様
	ご住所	〒
	TEL	
取扱販売店名 住所 電話番号		印
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より	ただし本体のみ1年間
型名		

## ■ 保証規定

- ・ 保証期間はお買い上げ月日より1年間です。
- ・ 修理はお買い上げの販売店様を通じ製造元にご依頼ください。
- ・ 無償修理の際は必ず本保証書をご提示ください。ご提示のない場合有料になります。

下記のような場合は保証期間内であっても保証対象外となり有料修理となります。

- ・ お買い上げ年月日、お客様の氏名及び住所、販売店様名及び住所の記入のない場合、又は、それらを訂正した場合。
- ・ ご使用方法の誤り、又は、乱用による故障。
- ・ 不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
- ・ 保管時の注意を守らなかった場合による故障。
- ・ 保存上の不備による故障及び損傷。
- ・ 天災等による故障及び損傷。

修理品の運賃等諸掛り費用は、お客様にてご負担いただきますようお願いいたします。

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保障期間中に故障が発生した場合、その原因が製造上あるいは材料の欠陥による場合に限り、製品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

お買い上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

本書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。

下記の場合は保証の対象外となります。

- ① 保証書がない場合
- ② 天災、地変、火災、海難、動乱、事故などにより生じた不具合の場合
- ③ 本書規定用途以外に使用した場合
- ④ 保管期間中、放電したまま放置、充電したままで長期間充放電しなかった場合
- ⑤ 本体に改造を加えたり、過大な負荷を増設して使用したために生じた不具合の場合

## 三晃精機株式会社

〒635-0034 奈良県大和高田市東三倉堂町7番13号

TEL 0745-52-0025

FAX 0745-23-2732

URL <http://www.sanko-seiki.co.jp>